

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2024年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び大会規定により行う。また、本大会はWRK対象競技会とする。WRK申請競技会につき、WA競技用靴規定を適用し、適用除外としない。ただし、5000m競歩はWRK対象競技会としない。

2. 招集について

- 選手招集は第3ゲートバックスタンド下で実施する。
- 招集開始時刻に係員からスパイクとアスリートビブス等の確認を受け、競技者係の誘導指示に従う。現地での最終点呼の代理人は認めない。点呼の代理人は認めない。ただし、多種目を同時に兼ねて出場する選手は、第1種目の招集完了時刻30分前までに「多種目同時出場届」を提出すること。（「9. V-TICについて」を参照）
- 招集時刻（競技開始時刻を基準とする。）

トラック競技（予選・決勝とも）	開始：25分前	完了：15分前
跳躍競技、投てき競技（やり投）	開始：40分前	完了：30分前
投てき競技（砲丸、円盤、ハンマー）	開始：30分前	完了：20分前
- 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の通信機器を招集所・競技エリア内に持ち込むことを禁止する。持ち込んでいる場合は助力と見なされる場合がある。

3. アスリートビブスについて

- アスリートビブス（縦16cm×横24cm）は、エントリー時に入力された登録番号で競技者が準備すること。
- ①と同じ番号の腰ナンバー標識（縦12cm×横18cm）を準備すること。

4. 競技の抽選および番組編成について

- 予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお決勝の組み合わせ（レーン順、試技順）はTR20. 4. 3～5に従って番組編成員が行う。

5. 競技について

- 競技結果については、場内スクリーンに表示し、アナウンスで発表するとともに、「滋賀陸上競技協会速報サイト」に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示し、アナウンスされた時点を正式発表とする。
- 競技者に対する助力については、TR. 6に準ずる。
- 主催者が設置したビデオ記録を用いて、判定を行うこともある。
- 5000mWは27分を越えて周回を残している場合、競技運営上ゴール地点で競技を中止させるので審判員の指示に従うこと。
- 少年共通女子三段跳の踏切板は、砂場から10m00の地点に設置する。
- 男女走幅跳・三段跳の競技前練習について、試技順に「足合わせ1本」「公式練習2本」を行った後、競技開始時刻5分前までフリー練習とする。
- 走高跳の競技前練習について、フリーで足合わせを行った後、競技順に事前に決められた高さでの「公式練習2本」とする。
- フィールド競技において、「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべて「コーチ席」から行うこと。
- フィールド種目における手拍子についてはTOP8(走高跳や棒高跳においては上位8名程度)が決まるまでは禁止とする。

6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

種目	種別	練習	バーの上げ方
走高跳	少年共通男子	1m70	1m75-80-85-88-91 以降3cm刻み
走高跳	成年女子	1m55	1m55-58-61-64-67 以降3cm刻み
走高跳	少年共通女子	1m40	1m45-50-55-58-61 以降3cm刻み
棒高跳	少年男子A	任意の高さ	3m80-90-4m00-10 以降10cm刻み
棒高跳	成年女子	任意の高さ	3m00-10-20-30 以降10cm刻み

※同記録による順位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

※バーの上げ方（練習の高さを含む）については、天候等の状況により変更する場合がある。

7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備え付けのものを使用しなければならない。ただし、投てき用具については、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②持ち込み投てき用具の検査を受ける場合は、競技開始の1時間前より40分前までに、TICへ投てき用具を提出すること。投てき用具には所属名を記入しておくこと。前回の検査済シールは剥がしておくこと。
また、WRK対象競技会のため、使用できる用具のリストを確認しておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④競技用シューズについてはTR5.2に基づいて実施する。必要に応じて競技役員が競技用シューズを競技前、競技中または競技後に確認することがある。
- ⑤競技用シューズの承認状況については、<https://certcheck.worldathletics.org/FullList>で、使用が許可されているものか確認すること。

8. 練習について

- ①メイン競技場の練習時間帯は7：30～8：50とする。
補助競技場の練習時間帯は8：00～午後の記録会最終種目招集開始時刻までとする。
- ②メイン競技場・補助競技場とも競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- ③メイン競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習2レーンはジョグ専用、3～7レーンは短距離練習、8・9レーンはハードル練習とする。補助競技場のレーンの使用は、1レーンは400m以上のスピード練習2レーンはジョグ専用、3～6レーンは短距離練習、7・8レーンはハードル練習とする。
- ④補助競技場の跳躍練習について、助走練習のみ可能とする。ただし、使用した者で準備・片付けをすること。マットや踏切板の使用はできない。
- ⑤投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ⑥ウォーミングアップは補助競技場および室内練習場で行うこと。2階・3階スタンド通路、メイン競技場通路や駐車場周辺で、ダッシュ等のウォーミングアップは禁止する。
- ⑦室内も含めて競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。また、室内練習場は、短距離系のスピード練習と長距離のジョグは混在しないように注意すること。また、走る方向は彦根城側から大型スクリーン側とする。砂場は使用不可とする。

9. V-TICについて

- ①「欠場届」「多種目同時出場届」「記録証明書発行届」はV-TIC内の専用フォームから提出すること。
- ②記録証明書は発行手数料500円と引き換えにエントランスホールのTICで手渡す。



10. その他

- ①競技会における怪我の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- ②テントはメインスタンド、サイドスタンドは禁止する。バックスタンドは可とするが、風で飛ばないように設置すること。各自、各チームが出したごみは持ち帰りを基本とする。各チームで使用した場所は責任をもって清掃し、競技場の環境美化に協力すること。
- ③競技場外でのテントの設営を禁止する。
- ④横断幕の設置は、サイドスタンドおよびバックスタンド最前列手すりとする。
- ⑤スマホ以外で撮影する場合は、エントランスホールのTICにて受付すること。撮影許可証は首からかけ、退場時に返却すること。大会で撮影した画像・動画等をSNS等へ投稿しないこと。
- ⑥スタート地点など、撮影禁止エリアでの撮影は認めない。審判員の指示等に従うこと。
- ⑦メインスタンド前ピットやバックスタンド前ピットで行われる跳躍競技において、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げなどにより競技エリア内に持ち込むことを禁止とする。
- ⑧サイドスタンドでは、コーチ席内から録画再生機器等を選手に手渡してもよいが、録画再生終了後すぐにコーチ席内に戻すこと。
- ⑨競技エリアに日傘、折りたたみ椅子など、競技運営や他の競技者に支障をきたす恐れのある物を持ち込むことはできない。